

様式第3 (第3条関係)

煙火消費計画書 (花火大会)

1 打揚業者の名称、所在地及び電話番号

名 称	所 在 地	電話番号

当該花火大会実行委員会は、煙火の消費にあたり、打揚業務その他の煙火の取扱いを上記打揚業者に業務委託 (別添契約書写し参照) して行います。

2 花火大会実行委員会における煙火消費の総括責任者及び統括責任者を補佐する副統括責任者を選任します。

統括責任者		副統括責任者	
職 名	氏 名	職 名	氏 名

3 煙火消費に係る各打揚業者間の調整等のため統括責任者を選任します。また、統括責任者を補佐するため各打揚業者の責任者を副統括責任者として選任し、煙火取扱従事者を指揮監督させ、安全な作業を行います。

職 名	氏 名 (打揚業者名)	職 名	氏 名 (打揚業者名)
統 括 責 任 者	( )	副 統 括 責 任 者	( )
副 統 括 責 任 者	( )	副 統 括 責 任 者	( )
副 統 括 責 任 者	( )	副 統 括 責 任 者	( )
副 統 括 責 任 者	( )	副 統 括 責 任 者	( )

4 煙火の管理、打揚等の準備

煙火置場設置：  有  無

- (1) 煙火置場、煙火を収納する容器の種類、煙火置場責任者等は、次の表及び煙火置場の構造図のとおりです。

打揚業者名	煙火置場の種類	煙火収納容器の種類	煙火置場責任者氏名 (従事者数)
			( 名)

注 「煙火置場の種類」欄には小屋組、テント張り、有蓋車等を記載すること。

- (2) 煙火置場の位置と打揚筒の設置場所との関係は、次の表及び配置図のとおりです。また、筒場に持ち込む収納容器は、火の粉の入り込まない丈夫な構造のものを使用します。

打揚業者名	最も近い打揚筒 (距離)	打揚筒との間に 設ける隔壁の構造	打揚煙火責任者氏名 (従事者数)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)

注 打揚筒との距離が20m未満である場合の当該間に設ける「打揚筒との間に設ける隔壁の構造」欄には、材質、寸法等を記載すること。

- (3) 煙火置場と仕掛煙火の設置場所との関係は、次の表及び配置図のとおりです。

打揚業者名	最も近い仕掛煙火 (距離)	仕掛煙火との間に 設ける隔壁の構造	仕掛煙火責任者氏名 (従事者数)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)
	号 ( m)		( 名)

注 仕掛煙火との距離が20m未満である場合の当該間に設ける「仕掛煙火との間に設ける隔壁の構造」欄には、難燃又は不燃物質の名称及び寸法を記載すること。



項 目		当該打揚業者名	保安物件の種類	当該距離	備 考
裏打ちの設置場所	号			m	
	号			m	
	号			m	
	号			m	
	号			m	
その他				m	
				m	
				m	
				m	
				m	

注 保安物件等に最も近い筒場及び最も大きい号数の筒について、それぞれの設置場所ごとに記載すること。

- (3) 打揚筒の設置場所から仕掛煙火の設置場所までの距離は、次の表及び配置図のとおりです。または、船上消費のため別の船に設置します。

打揚業者名	打揚煙火	最も近い仕掛煙火 (距離)	打揚業者名	打揚煙火	最も近い仕掛煙火 (距離)
	号	( m)		号	( m)
	号	( m)		号	( m)
	号	( m)		号	( m)
	号	( m)		号	( m)
	号	( m)		号	( m)
	号	( m)		号	( m)

- (4) 消費の順序の概要は、次の表のとおりです。また、プログラムの詳細は、決定次第提出します。

時間	種類	打揚煙火		スター マイン	枠仕掛 裏打ち			
		細工物	星物					
朝	時～時							
昼	時～時							
夜	時～時							
	時～時							
	時～時							
合 計		個	個	基	基			

注 朝、昼、夜に区分し、夜間は1時間ごとに記載すること。

- (5) 煙火及び筒の種類は、別添打揚煙火及び仕掛煙火明細書のとおりです。
- (6) 打揚煙火、スターマイン及び粋仕掛の裏打ちには袋物、吊物、観客等に落ち込むおそれのある引星等を使用した煙火は消費しません。
- (7) 噴出煙火の噴出口は筒の内径の3分の1以上のものを使用し、手持ちの噴出煙火の筒は、荒縄巻等とします。

## 7 危険予防の方法

- (1) 危険区域の周囲に設ける縄張り、警戒札、警戒員、夜間時の赤色燈火使用等の警戒措置、交通規制等は、別添煙火の消費に係る警備計画書のとおりです。
- (2) 打揚煙火の従事者には、離隔距離に応じた防護措置等を次の表のとおり設置します。  
(防護措置等が必要な筒場)

打揚業者名	煙火の種類	離隔距離	点火の方法	防護措置等	打揚煙火責任者氏名(従事者数)
	号				(名)
	号				(名)
	号				(名)
	号				(名)
	号				(名)

注1 「離隔距離」欄には、「直接」又は距離(m)を記載すること。

2 「点火の方法」欄には、ロー火、焼金、電気等と記載すること。

3 「防護措置等」欄には、防護材の種類、厚さ、安全対策等を記載すること。

- (3) 不発煙火の回収措置

項目	回収指揮者名(打揚業者名)	回収人員
終了後(時～時)	( )	名
翌朝(時～時)	( )	名

## 8 事故発生時の措置

爆発その他災害が発生したときは消費を中断し、人身事故にあつては、直ちに医師の応急手当を受けさせ、火災にあつては、消防機関に通報します。

また、現状を変更することなく、直ちに警察官に届出をするとともに許可行政庁に通報します。

(通報先：許可行政庁名)

許可行政庁名	稲沢市
電話	

## 9 煙火取扱従事者等

別添煙火取扱従事者名簿のとおりです。

10 消費場所内配置図（打揚筒、粹組、裏打ち、スターマイン、乱玉等の設置場所、煙火置場の位置、防護材の設置場所、警戒札、見張人等を明記すること。）

1 1 付近の見取図（消費場所と観客席、建物、道路等の保安物件との関係、危険区域の設定位置、当該区域の周囲に設ける縄張り、警戒札、警戒員、消火設備及び大会本部の位置を明記すること。）

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。